



# おのみ



令和4年度 1月号  
志布志市立尾野見小学校

## とびはねて おおきく せいちょうする

学校長 宗岡 克英

新年あけましておめでとうございます。保護者や地域の皆様方におかれましては新年を迎え、新しい気持ちでお過ごしのことと思います。2学期末には、本校でも新型コロナウイルス感染症の陽性者が増加し、感染拡大が心配されました。しかしながら新学期を迎え、陽性だった子ども達も体調が回復し、ほとんどの子供達が元気に登校することができました。3学期を無事スタートすることができたことを大変嬉しく思います。

元日の朝、初日の出を拝もうと思い、大谷山に登りました。頂上に登ると地域の方々が4人ほどが集まっていて、参拝者が寒くならないようにたき火を用意してくれていました。たき火で暖を取りながら、太陽が上がるまでとりとめのない話をしていると、続々と人が集まってきました。多数の保護者の方々も子供たちを連れて来ていました。7時17分、太陽が上がった瞬間、日の出に向かって手を合わせました。大谷山に集まった皆さんもそれぞれの新年の願いを込めて手を合わせていました。保護者の皆さんも様々な場所で新年の願いや決意を立てたことと思います。私が願ったことは、まず自分の健康・安全、尾野見小の児童と職員の健康・安全、そして一日も早くコロナウィルス感染症が終息することです。ここ数年同じことを祈願しています。今年こそは、当たり前前の生活や学校生活ができることを願います。

大谷山の頂上に集まった方々の願ったことや決意したことは、それぞれ異なると思いますが、頂上にいる人たちの気持ちがひとつになった気がしました。尾野見にはこのように自然と集える場所があっという間と思います。2年生の子供たちが来ていましたので、初日の出の写真に入れてもらいました。初日に照らされてとても清々しい表情をしています。寒い元日の朝でしたが心温まる一年の始まりを経験することができました。



三学期の始業式では、上記の初日の出の話に加えて、今年の干支・卯にちなんだ話をしました。「うさぎは、飛び跳ねて前に進みます。今年は、干支のうさぎのように飛び跳ねておおきく成長してください。」と子供達に伝えました。

全校朝会が終わった後、ある児童が私を校庭に案内してくれました。もみの木の下にあるテーブルには木の葉や木の実、砂を使ってうさぎが描かれていました。その児童が冬休み中につくったそうです。描かれたうさぎは今にもそこから飛びだしてきそうでした。そして、そのうさぎには、新しい年を迎えての自分の願いが込められている気がしました。別の児童は、校長室に菜の花を摘んで見せに来てくれました。小さな黄色い花が咲いたことがとても嬉しくて、見せたくて持って来たそうです。その子の豊かな感受性に感動しました。寒い毎日が続きますが、春はすぐそこまで来ています。



3学期は、2月10日に3～6年生のおのみっ子フェスティバル、3月11日にはおのみんピック持久走大会が予定されています。毎朝、校庭を走る子供達が増えてきました。それぞれの行事で子供たちが自分の力を十分発揮できるように、そして「とびはねて おおきく せいちょうする」ようにしっかりと目標を持たせて取り組んでいきたいと思っております。本年も学校教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。